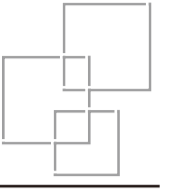


6月定例会では、6月14日から16日にわたり15人の議員が一般質問を行い、太田市政の現状や将来に対する方針などに関して活発な議論を展開しました。紙面の都合により、質問した議員に確認のうえ1問を選び、質問と答弁の要旨を紹介しします。なお、一般質問の様子は太田市議会ホームページ「インターネット中継」からご覧いただくことができます。また、定例会の正式な会議録は、市政情報コーナーや市立図書館、市議会ホームページ、議会事務局などで9月下旬からご覧いただくことができます。詳しいことは、議会事務局(☎0276-47-1806)までお問い合わせください。



更なるAEDの普及促進について

創政クラブ 高田 靖

議員 日本は世界でもAEDの普及が進んだ国と言われている一方で、実際の心停止の際にAEDが使用される例は少ないと言われています。AEDの有効性等について伺います。

消防長 心停止を起こし、心室細動と呼ばれる状態ではAEDによる電気ショックが有効です。電気ショックが3分遅れると救命率が70%に低下し、5分後では50%になるため、迅速にAEDを使用することが理想です。

議員 本市においては各学校にもAEDが設置されており、事故対応マニュアルもあります

が、熱中症等の記載内容に比べて、心停止やAEDによる心肺蘇生に関する部分は記載が少なく感じます。他市の例では、さいたま市教育委員会において、同市で平成23年度に発生したマラソン練習中における女子児童の死亡事故の反省を踏まえ、ご遺族とともにASUKAモデルという詳細なマニュアルを整備しました。このようなマニュアルの整備について教育長の所見を伺います。

教育長 各学校で作成しているマニュアルのほか、教育委員会でも危機管理マニュアルを作成



本市の公教育について

おおた政研クラブ 秋山 健太郎

議員 平成27年に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が施行され、本年は学習指導要領が改訂されました。これらの教育行政

現場の多様な課題や、文部科学省の調査で多くの教員が過労死ラインに届いているとされる時間外労働に対応するため、事務職員やスクールカウンセラー等の専門スタッフを配置し、組織的に連携・協力体制をとるチーム学校の推進は重要項目と考え

ます。また、小学校における英語の教科化も、教員の多忙感や

しましたが、いずれも一般的な内容のものです。ASUKAモデルを実際に確認してみたいところ、緊急時の対応が非常にきめ細やかに記載されており、有効性を認識しました。その内容について本市の教育委員会のマニュアルに付け加えつつ、緊急時の対応を図りたいと考えます。

議員 公共施設にAEDの設置場所を分かりやすく明示したステッカーを掲示し、より効率的なAEDの利用を図ることに

市長 非常に良い提案だと思います。常に目にするのでAEDへの意識が高まると思いますので、提案いただいたことを参考に実施したいと思えます。

その他の質問
・深刻化するインシシ問題への対応について



学力向上を目指した効果的なICT活用について

創政クラブ 高木 勝章

議員 文部科学省が公表した教育の情報化ビジョンの中に、ICTを活用した教育の質の向上が挙げられており、子どもたちに関心や意欲を持たせ、総合的な学力を身に付けていくためにもICTは重要と考えます。

議員 来年度から実施される小学校の英語など、教える側の指導技術の差が出やすい教科に

において、デジタル教科書の動画教材などを使うことにより学校の格差がなくなり、生徒の理解度も均一化が図られると考えます。ICTの活用について、教育長の所見を伺います。

教育長 指導技術の卓越した先生の授業であっても生きた授業にはならない例もあります。同時に、単にICTを活用しても、必ずしも学習の理解度が深まるとは限らないと思っています。大事なことは、教科または指導内容に適しているかどうか見極めをして、そのうえで活用することです。それを踏まえた

その他の質問
・交通安全対策と環境整備について



発達障がい児・者に対する本市の取り組みについて

公明クラブ 高橋 えみ

議員 発達障がい児は、早期発見と発達の段階に応じた一貫した支援が重要です。鳥取県では

全国に先駆けて5歳児健診を実施し、その中で軽度の発達障がい児が約10%の頻度で発見されているようです。これは3歳児健診で見逃さされていた子ども

が新たに発見されていることを意味しており、本市でも5歳児健診が必要だと思えます。発達障がい児の早期発見のための本市の取り組みを伺います。

場合には、英語に限らず全ての教科で大きな利用価値があると認識しています。

議員 文部科学省は、21世紀を生きる子どもたちに求められる力を育む教育のため、学習や生活の主要な場である学校において教育の情報化を推進しています。ICT環境の整備に対する市長の所見を伺います。

市長 国は方針を示すだけで予算措置をしないため、教育現場が混乱していると思います。現状では、全ての教室にICTの環境を整えるのは難しいと考えますが、各学校に英語に特化した教室をひとつだけ作り、そこに機器等を整備するなどの方法もあると考えます。

て、教育長の所見を伺います。
教育長 今、各学校では、いろいろな子どもたちに対する指導方針について、校内で協議のうえで個別計画を作り、情報共有して対応しています。今後も先生方の研修の充実とともに、きめ細やかで寄り添った指導を推進していきたいと思えます。

議員 発達障がいのある子どもに対する支援について、市長の所見を伺います。

市長 発達障がいに対して有効的と思われる対応は、全て実施していきたいと思えます。まずは5歳児の保護者へのアンケート調査を実施し、そこから必要とされるものを洗い出して実行に移したいと思えます。

その他の質問
・入浴時に使える乳がんの自己チェックシートの配布について